

## 計画推進部会および総合研究グループ等別の成果

「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画の推進について（第3次）」（建議）に示された実施内容について、令和6年度の成果を計画推進部会および総合研究グループ等別に学術報告として取りまとめた。

この報告は、地震火山観測研究推進協議会<sup>1)</sup>に設置された8の計画推進部会と6の総合研究グループ、及び東京大学地震研究所と京都大学防災研究所の拠点間連携委員会<sup>2)</sup>の責任で編集したものである。

この報告の中から代表的なものを抜粋して、可能な限り平易でわかりやすい文章と図で書き直したものが、本編の「令和6年度の成果の概要」である。本編の「令和6年度の成果の概要」の内容について、さらに詳細を知りたい場合、原著論文を参照したい場合には、以下の報告をご参照いただきたい。

### ○東京大学地震研究所 地震火山観測研究推進協議会

#### 【計画推進部会】

「地震（現象解明）」計画推進部会長	望月公廣（東京大学地震研究所）
副部会長	寺川寿子（名古屋大学大学院環境学研究科）
副部会長	安藤亮輔（東京大学理学系研究科）
副部会長	大園真子（北海道大学大学院理学研究院）
「地震（長期予測）」計画推進部会長	西村卓也（京都大学防災研究所）
副部会長	後藤和久（東京大学理学系研究科）
「地震（中短期予測）」計画推進部会長	川方裕則（立命館大学理工学部）
副部会長	中谷正生（東京大学地震研究所）
「火山」計画推進部会長	山本 希（東北大学大学院理学研究科）
副部会長	前野 深（東京大学地震研究所）
副部会長	森 俊哉（東京大学理学系研究科）
副部会長	伊藤順一（産業技術総合研究所）
「災害誘因評価・即時予測」計画推進部会長	太田雄策（東北大学大学院理学研究科）
副部会長	為栗 健（京都大学防災研究所）
「防災リテラシー」計画推進部会長	木村玲欧（兵庫県立大学環境人間学部）
副部会長	高橋 誠（名古屋大学大学院環境学研究科）
「史料・考古」計画推進部会長	蝦名裕一（東北大学災害科学国際研究所）
副部会長	山中佳子（名古屋大学大学院環境学研究科）
「観測研究基盤」計画推進部会長	鶴岡 弘（東京大学地震研究所）
副部会長	松島 健（九州大学大学院理学研究院）

#### 【総合研究グループ】

「南海トラフ沿いの巨大地震」総合研究グループ長	伊藤喜宏（京都大学防災研究所）
「首都直下地震」総合研究グループ長	加藤愛太郎（東京大学地震研究所）
「千島海溝沿いの巨大地震」総合研究グループ長	高橋浩晃（北海道大学大学院理学研究院）
「内陸で発生する被害地震」総合研究グループ長	岡田知己（東北大学大学院理学研究科）
「大規模火山噴火」総合研究グループ長	中道治久（京都大学防災研究所）
「高リスク小規模火山噴火」総合研究グループ長	寺田暁彦（東京科学大学総合研究院）

### ○東京大学地震研究所・京都大学防災研究所拠点間連携共同研究委員会

研究代表者 松島信一（京都大学防災研究所）

研究代表者 加藤尚之（東京大学地震研究所）

- 
- 1) 東京大学地震研究所には、災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画で立案された研究を推進することを目的に設立された地震火山観測研究推進協議会（令和6年度末までの名称は地震・火山噴火予知研究協議会）がある。ここでは、本観測研究計画に参加する全国の大学等が連携し、研究機関と協力しながら研究を推進している。また、科学技術・学術審議会測地学分科会地震火山観測研究計画部会では、大学、研究機関、行政機関が連携して計画の推進を図っている。地震火山観測研究推進協議会には、災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画の、効率的かつ調和的な実施を推進するために、8の計画推進部会と6の総合研究グループが設置されている。
  - 2) 「地震・火山科学の共同利用・共同研究拠点」である東京大学地震研究所と「自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点」である京都大学防災研究所は、地震や火山噴火の現象解明・予測の研究成果を災害軽減につなげるための組織的な共同研究を実施するために、拠点間連携共同研究委員会を設置している。